

和田 恵子准教授

含む)は変えられます。慢性病に該当します。実現在日本人の死因とは、テレビや雑誌で取なる病気のほとんどり上げられる「健康にはなく集団を対象とが、遺伝だけで決まつよい生活」のほとんどしてしまって、しまう病気ではなが、本当に人間で有効す。

研究から

病気発症防ぐ健康習慣調査

く、その人がどのよう
に生きたかによって発
症が抑えられたり逆に
悪くなったりする病気
です。

私たちの病気の原因
は、大きくは遺伝と環
境にあります。遺伝は

生まれつきの体質な
ので変えられません

が、環境(生活習慣も
などの全てが、生活習

く、心筋梗塞、脳

卒中、糖尿病、高血圧

がん、などかはわかつてい
ません。

われわれは「本当に

人間には自分の意志
で自由に生きる権利が
ありますから、動物研
究のように実験的条
件に当てはめる」とは
できません。だから、「いつ、どこで、何を
したら、ずっと健康に
幸せに暮らせるのだろ
うか?」これを解明す
べく日々研究をしてい

病は薬で治すもの?

防に直接つながります。

よい健康習慣が何か」発症に関与する因子を探る研究をしていきます。そのため疫学的手法を用い、個人でもこうして見つけられた知見は、どんな研究よりも現実味を持っており、病気の発症予防に直接つながります。

